

生石高原の山開き

有田川町と紀美野町にまたがる生石山（標高870メートル）は、山頂が360度の眺望と広大なスキの草原で有名な県立自然公園であり、珍しい高山植物や小動物が生息しています。空気の澄んだ日には、遠く淡路島や四国まで見渡すことができ、その眺めは関西屈指ともいわれ、昔から多くの人々が訪れています。

生石山は、生石神社のご神体や山頂の笠石と呼ばれる巨岩をはじめ、付近には岩石が露出し、古来より神の宿る山として信仰されてきました。生石山には生石明神という独自の信仰が生まれ、東の生石神社や西の五名生石神社という生石山の山岳信仰から創始された神社が存在しています。また、生石山は弘法大師空海が高野山創建以前に修行した地と伝えられ、空海が高野の地



を見つけたあまりの嬉しさから旅笠を忘れて出立してしまい、忘れた笠が岩となったと伝えられる笠石や、生石山の三角点からやや下った場所にあり、空海が硯の水をとるために足下を掘ったところ、清水が出た場所と伝えられる硯水など空海ゆかりの史跡があります。

また、生石山は、かつては周辺地域の茅取り場として人々の生活に密接した場所でしたが、茅葺き民家の減少により茅場としての役割失いました。しかし、平成14年から山焼きが再開され、良質な茅が産出するようになり、現在では重要文化財の茅葺き屋根の修理にも使用されており、先月も重要文化財法音寺本堂の修理工事のため、地域の方々による茅の刈り取りが行われました。



4月29日(火)には、生石高原山開きが行われます。さわやかな春の日を生石山で過ごすしてみたいかがでしょうか。

生石高原山開き

日時／4月29日(火) 11時～ ※雨天時は翌日

■問い合わせ／商工観光課